

大往生

の

勉強会

「終活」この不思議な活動、でも「もしも」がやってくる前に必要なことは？

新聞でテレビで「終活」という言葉が踊っています。おひとり様、孤族などという言葉が市民権を得て日々語られるようになりました。「終活」とは人と人との絆が細ったこの時代、たったひとりになったとき、病気になったとき、ちょっと悩みを聞いて欲しいとき、助け合える誰かをつくらなければなりません。お金で解決する方法もありますが、日々の暮らしの中でおこる些細なSOSに対応するのは難しいのではないのでしょうか。



一人暮らしのセーフティネット（安全網）大丈夫？助けてと言えますか？

最期はひとりと分かっていますが、それまでには心の準備、助け合いの仕組みなどが必要ですね。みなで何ができるかを話し合い、実現に向けていきましょう。

- 講師 須斎美智子（NPO法人ライフ・アンド・エンディングセンター 理事長）
保坂 由枝（ケアプランセンターつむぎ 主任介護専門員・看護師）他
- 日時 23年3月2日（水）午後2時～4時
- 場所 浦和コミュニティセンター 第6集会室
（JR浦和駅東口前コムナーレ（パルコ）10階）
- 定員 39人
- 参加費 会員 500円 一般 700円
- 主催 NPO法人ライフ・アンド・エンディングセンター
- 申込み TEL 048-855-1238 FAX 048-855-1006 Email office@npolec.org